



# MGC で制御されるゲートウェイ全体のプロパティ

この機能を利用すると、H.248 Base Root パッケージ v2 のプロパティ（H.248.1 v3 で定義されています）の変更および監査を、メディア ゲートウェイ コントローラ（MGC）を使用して実行できるようになります。

## MGC で制御されるゲートウェイ全体のプロパティの機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.5.0	このコマンドは Cisco CRS-1 に初めて追加されました。

## 内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- 「[MGC で制御されるゲートウェイ全体のプロパティの制約事項](#)」 (P.441)
- 「[MGC で制御されるゲートウェイ全体のプロパティに関する情報](#)」 (P.441)
- 「[その他の関連資料](#)」 (P.442)

## MGC で制御されるゲートウェイ全体のプロパティの制約事項

- プロパティ フィールド値は、H.248 Base Root パッケージによって設定された場所に格納され、以後の監査で返されますが、Data Border Element（DBE）がその値を使用することはなく、DBE の動作にも影響しません。

## MGC で制御されるゲートウェイ全体のプロパティに関する情報

ベースルート プロパティは、変更と監査の両方が可能なものもあれば、監査だけが可能なものもあります。

## 変更および監査が可能なプロパティ

次のプロパティは、メディア ゲートウェイ コントローラ (MGC) を通じて変更および監査ができるようになりました。

- *normalMGExecutionTime*
- *normalMGCExecutionTime*
- *MGProvisionalResponseTimerValue*
- *MGCProvisionalResponseTimerValue*
- *MGCOriginatedPendingLimit*
- *MGOriinatedPendingLimit*

## 監査のみ可能なプロパティ

MGC によって上記のプロパティが変更された場合は、それ以降の監査では変更後の値が返されます。

MGC を使用して、次の読み取り専用プロパティを監査できるようになりました。

- *maxNrOfContexts*
- *maxTerminationsPerContext*

## その他の関連資料

次の各項では、MGC で制御されるゲートウェイ全体のプロパティに関連する参考資料を示します。

## 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

## 標準

標準	タイトル
H.248.1 v3	『Media Gateway Control (Megaco) Protocol Standard』

## MIB

MIB	MIB のリンク
—	Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。 <a href="http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml">http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</a>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	<a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a>

